

2022年9月1日

課題名：胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術時のポノプラザン(VPZ)内服 vs プロトンポンプ阻害薬(PPI)静注+PPI内服治療患者の臨床転帰：前向き観察研究

◆研究の目的と概要◆

胃腫瘍に対する内視鏡的胃粘膜下層剥離術後に使用する胃酸分泌抑制剤の静注製剤と内服薬の後出血予防効果の差を調べることにより、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2020年1月から、2024年9月までの間に、胃腫瘍に対し内視鏡的胃粘膜下層剥離術を受けられた方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、治療施行日、胃の状態、併存疾患、抗血栓薬内服歴、内視鏡所見、病理組織所見、輸血の有無、脳・心血管イベント発症の有無、内視鏡治療に関連する有害事象（後出血、穿孔）発生、医療経費

◆研究方法◆

本研究は胃酸分泌抑制剤（プロトンポンプ阻害薬）経静脈および経口投与と、胃酸分泌抑制剤（ポノプラザン）経口投与の内視鏡治療後の出血予防効果を比較します。診療録を利用し、患者さんの氏名などがわからないように実施します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 _____ 宮岡 大輔 _____

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明